

Project	地域協働専攻 国際協働グループ
	10 「やさしい日本語」活用プロジェクト

メンバー	[学 生] 田崎 倫夏 / 鈴木 飛雄馬 / 福田 雪乃 / 多賀谷 凌 / 嶋田 丞 / 徳光 理幸 / 平野 真衣 / 工藤 李々花
	[担当教員] 高橋 圭介

【背景】

昨今、震災や急激な気候変動による災害などが多発しており、将来、南海トラフ巨大地震や北海道・東北でM9クラスの巨大地震が起こると言われている。また、訪日外国人が大阪関西万博により増加することが見込まれることから、「やさしい日本語」を用いた被災時や平素の防災支援が求められている。

【目的】

1. 非常用食品の作り方や成分を調べ、在日外国人など様々な背景をもつ、全ての人に向けた非常用食品の作り方を紹介する映像を作成する。
2. 日本語が少しできる外国人や高齢者、子どもたちが函館の歴史や文化に触れられるよう観光案内板を「やさしい日本語」を用いて書き換える。

【概要】

1. 「やさしい日本語」についての理解を深め、市で蓄えている非常食の作り方などを「やさしい日本語」を用いて紹介する映像を作成する。
2. 函館市内にある観光案内板を「やさしい日本語」を用いて書き換える。

【プロセスと成果】

- 5月 6日 満間さん(函館校)のワークショップによる「やさしい日本語」の理解 やさしい日本語の書き換えについて文献を読んで学習 実際に書き換えの練習を行う (図1)
- 6月 非常用食品の作り方を「やさしい日本語」へ書き換える話し合い
- 7月 奥野先生によるサイト紹介(15日) 非常用食品映像の作成 (図2)
- 9月25日 函館市地域交流センターで開かれた函館防災マルシェにて映像、ポスターを展示 (図3)
- 10月 「南北海道の文化財」サイトの観光案内板書き換え
- 10月以降 「南北海道の文化財」サイトの観光案内板書き換え (図4) 伊藤地プロ(本書P10) と連携し、書き換えとすり合わせを繰り返し推敲
- 1月19日 伊藤地プロと合同で、はこだて未来大の田島さんによる書き換え 「南北海道の文化財」サイトの説明会



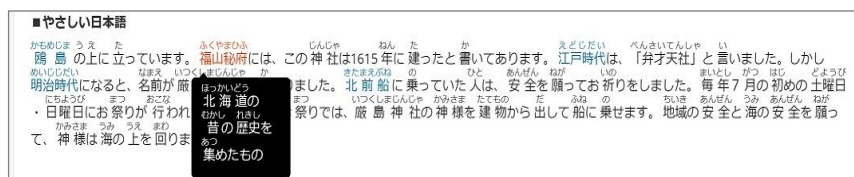
【図1 書き換えの様子】



【図2 非常用食品映像の作成】



【図3 防災マルシェでの展示の様子】



【図4 「南北海道の文化財」サイト書き換え】

【総括と反省・今後の課題】

ワークショップや文献、論文を読み、「やさしい日本語」の理解を深めることが出来た。また動画の作成では、「自動読み上げの音声で良いのか」や動画の終わり方について課題が残された。観光案内板の書き換えでも使える語彙でつまづくことが多く、特にカタカナの単語の扱いに困った。一方で、今回のプロジェクトで書き換えることにしたものは全て書き換えが終わり、「南北海道の文化財」サイトへ入力して終えることが出来

た。また、書き換え作業を忘れてくる人がおらず、解決に時間のかかるような課題もすぐに全体で共有することができていて、全体としては非常にスムーズに進めることが出来た。尚、作成した動画は函館市役所に提出し、採用されて実際に使ってもらえる可能性がある。

「やさしい日本語」のレベルである旧日本語能力試験3級までの語彙では書き換え、言い換えがうまくいかないことが多く、全体的に時間がかかってしまっていた。また、観光案内板のタイトルにカタカナが使われている場合はそこも書き換えるのかどうか、俳句を書き換えるのかどうかなど、書き換えや注釈を入れる以外のところでもつまづくことが多かった。

今後の課題として、実際に書き換えをおこなってみて、「使える語彙が少なく、簡単な単語に置き換えるのが難しかった」「自分たちが思うやさしい日本語と理想とされるやさしい日本語にギャップがあり、大変だと感じた」などの意見が挙げられたので、自分たち自身ももっと勉強して知る必要があると感じた。また、観光案内板の書き換えにおける具体的な課題としては、宗教に関する語や戦争に関する語などを定めた書き換え基準に従って書き換えることが難しく、注釈をつけるという代替案で対応し、俳句や漢詩の扱いについても課題が残った。

【地域からの評価】

防災マルシェにおいては、「動画の終わり方を工夫した方がよい」「動画内の文字の字体を見やすく変えた方がよい」など非常用食品映像に関して様々な指摘をいただいた。文字の字体については、特定のフォントに対して抵抗感がある人もいるため、ユニバーサルデザインのフォントを用いてはどうかというアドバイスを頂いた他、アレルギー表記をより分かりやすくするためにピクトグラムを採用するのがよいのではないかという声があった。アドバイスを活かしピクトグラムを用いて映像を作成したところ、図を使用するという工夫によって、誰が見てもすぐに理解しやすい情報へと改善された。

他にも表記方法に関しての指摘があった。映像の中で「アレルギーのある人は気をつけてください」という表現を用いた部分があった。これに対し、表現方法が具体的ではなく、実際にどう行動したらよいのか迷ってしまうのではないかという疑問から「係の人に伝えてください」「聞いてください」のような明確な表現に変えたほうがよいのではないかという声も頂いた。このアドバイスを受け、「アレルギーがある人は食べないでください」という明確で直接的な表現に変更した。他の部分に関しても分かりやすく簡潔な表現方法を用いることができた。

評価されたのは、映像の前半部分において動きがあって分かりやすいという点である。この評価を受け、動画後半の静止画だった部分を、動きのある動画に実際に変更し直した。

ご協力いただきました函館市役所の鶴岡崇男さま、はこだて未来大学の奥野拓先生、北海道教育大学函館校の満間笑歩さん、はこだて未来大学の田島鼓太郎さん、発表を聞いてくださった方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

【年間スケジュール】

■前期

- 4月15日 第1回「ミーティング」
- 4月22日 第2回「文献講読①」
- 5月6日 第3回「満間さんのワークショップに参加」
- 5月13日 第4回「文献講読②」
- 5月20日 第5回「文献講読③」
- 5月27日 第6回「文献講読④」
- 6月10日 第7回「文献講読⑤」
- 6月17日 第8回「動画作成について」
- 6月24日 第9回「動画作成の話し合いなど」
- 7月1日 第10回「非常食書き換えの話し合い」
- 7月8日 第11回「話し合いつづき、役割分担など」
- 7月15日 第12回「奥野先生によるサイト紹介」
- 7月22日 第13回「発表準備、動画の作成など」
- 7月29日 第14回「発表準備等」
- 7月31日 「中間発表会」
- 9月25日 「函館防災マルシェに参加」

■後期

- 10月20日 第1回「マルシェの反省」
- 10月27日 第2回「動画の改善、観光案内板着手」
- 11月3日 第3回「観光案内板書き換え1回目」
- 11月10日 第4回「 ” ” 」
- 11月17日 第5回「伊藤地プロ合同書き換え基準話し合い」
- 11月24日 第6回「観光案内板書き換え2回目」
- 12月1日 第7回「 ” ” 」
- 12月8日 第8回「観光案内板書き換え3回目」
- 12月15日 第9回「 ” ” 」
- 12月22日 第10回「伊藤地プロ合同書き換えなど」
- 1月12日 第11回「伊藤地プロ合同書き換え基準発表」
- 1月19日 第12回「田島さんによる書き換えサイトの説明」
- 1月26日 第13回「伊藤地プロ合同基準照らし合わせ」
- 1月28日 「成果発表会」
- 2月2日 第14回「まとめ」

